

〈PRESS RELEASE〉

BLUE FRONT SHIBAURA 東京都「グリーン水素率先利用事業者認証制度」認証を取得 エネルギーの安定確保と脱炭素化の両立化

野村不動産株式会社（本社：東京都港区/代表取締役社長：松尾 大作）は、東京大学先端科学技術研究センター（所在地：東京都目黒区/所長：杉山 正和、以下「東大先端研」）と進めているカーボンニュートラル技術拠点に関する連携活動の一環として「BLUE FRONT SHIBAURA」（以下、「本プロジェクト」）の外構部である GREEN WALK に導入しているグリーン水素発電システム：G-HES※₁について、東京都が再生可能エネルギー電力由来の水素の活用促進を目的として定める「グリーン水素率先利用事業者認証制度」※₂の認証を 2025 年 10 月 1 日付けで取得しました。

※1 報道発表資料①：2021 年 11 月 10 日

野村不動産グループと東京大学先端科学技術研究センターがカーボンニュートラル技術拠点に関する連携を開始
<https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2021112601929.pdf>

報道発表資料②：2025 年 3 月 5 日

グリーン水素発電システム：G-HES BLUE FRONT SHIBAURA に導入
<https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2025030502606.pdf>※2 東京都産業労働局 グリーン水素率先利用事業者認証制度 <https://www.green-h2-certification.metro.tokyo.lg.jp/>

G-HES 外観写真



記念品贈呈写真



1. G-HES の仕組み概要

「2050 年カーボンニュートラルの実現」に向けて、都市における CO₂削減問題の解決策として、GREEN WALK 沿いに設置した太陽光パネルによりグリーン水素を製造し、燃料電池発電により各設備へ CO₂フリーなグリーン電力を供給する、環境にやさしい「つくる・ためる・つかう」のエネルギーシステムを実現しました。グリーン電力は GREEN WALK 内の水景ポンプ、照明、共用コンセント、屋外ミストに供給しており、より多くの方々にグリーン水素の利活用シーンに触れて頂く機会を創出し、加えて災害時のレジリエンス強化という都市部の固有課題へ対応します。

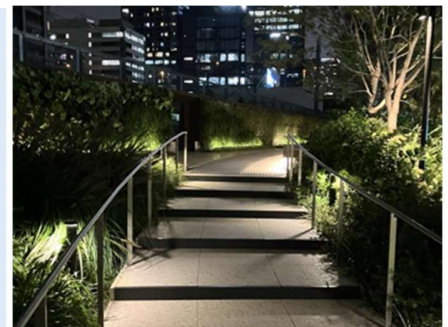
2025 年 3 月より本稼働して以来、8 月末時点でグリーン水素利用量は 800Nm³に達し、今後も GREEN WALK

にグリーン電力を供給して CO₂削減問題の解決策として発信し続けていきます。また、この度の認証頂いたグリーン水素率先利用事業者認証は、申請対象期間となるシステム稼働時間が短い為、「少量利用型」認証区分となりますが、来年度は「オンサイト型」（地産地消）認証区分で申請予定です。

【グリーン電力供給先】



【グリーン電力供給先設備】



植栽用照明



水景動力・ミスト(夏季)

2. グリーン水素を活用した地産地消の期待

G-HES は東京大学先端科学技術研究センター・河野研究室で開発中の「再生可能エネルギーを利用した水素エネルギーシステム」の技術を活用しており、河野教授からも G-HES の期待についてコメントを頂戴しています。

【東京大学先端科学技術研究センター 河野 龍興教授よりコメント】

都市部は人口密度が高く、エネルギー消費量が膨大であり、その大部分を海外からの化石燃料に依存しています。G-HES は再生可能エネルギーというグリーンな地域内資源を利用し、コンパクトで長期間のエネルギー貯蔵が可能な水素エネルギーを最大限に活用しています。また大規模災害が発生し、従来の電力網が寸断されても、G-HES は水素による長期間のエネルギー貯蔵が可能であるため、独立したエネルギー源として機能し、都市の防災力を大幅に向上させることができます。

都市部における循環型のグリーンシステムは、環境への負荷を極めて低く抑えることができ、持続可能で強靱な新しいエネルギーインフラの構築が期待できます。今後、このモデルが全国の都市部へ展開されることで、2050 年カーボンニュートラル達成に向けた大きな推進力となることを期待しています。

※東京都報道発表資料 2025/10/15

グリーン水素率先利用事業者認証制度 認証事業者の決定

新たに 3 事業者を認証しました。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/10/2025101509>

< 参考情報 >

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連のSDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。
サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。 URL：https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/

野村不動産グループ マテリアリティ		
 DECARBONIZATION 脱炭素  BIODIVERSITY 生物多様性  CIRCULAR DESIGN サークュラーデザイン  DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン  HUMAN RIGHTS 人権		
本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)
 DECARBONIZATION 脱炭素	不動産デベロッパーとして、 まずは「省エネ」「低炭素化」の建物開発に取組みながら、「再エネ」の導入も推進。 サプライチェーン全体でCO2総排出量の削減を実現していきます。	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  9 産業と雇用創出の 促進  11 住み続けられる まちづくりを  13 気候変動に 適応する

BLUE FRONT SHIBAURA(ブルフフロント芝浦)概要

事業主体	野村不動産株式会社 東日本旅客鉄道株式会社
施工者	TOWER S:清水建設株式会社 TOWER N:未定
設計者	株式会社横総合計画事務所、清水建設株式会社 オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ ジャパン・リミテッド、株式会社日建設計
所在地	東京都港区芝浦一丁目1番1号 他
区域面積	約 47,000 m ²
延床面積	約 550,000 m ²
主用途	オフィス・ホテル・商業店舗・共同住宅・駐車場他
建物の最高高さ	約 230m
階数	TOWER S:地上 43 階 地下 3 階 TOWER N:地上 45 階 地下 3 階
着工 / 竣工	TOWER S:着工 2021 年 10 月 竣工 2025 年 2 月 TOWER N:着工 2027 年度（予定） 竣工 2030 年度（予定）

